

【悪魔】 最近、教員のさまざまな不祥事とそれを理由とする処分が、報道されるようになっていきますね。報道されていないものも含めれば、かなりの数の教員が不祥事を理由に処分されていることが想像できますが、どのようにお考えになりますか？

【天使】 全く嘆かわしいの一言に尽きる。教員が人格発達途上の児童・生徒を教育する重要な任務を負っていることを考えるならば、本来あってはならないことが近時に到って頻発していると言わざるを得ない。このままでは教員に対する社会全般からの信頼が失墜してしまい、真摯に職務に取り組んでいる圧倒的多数の教員に対しても重大な損害を与えかねない。要するに、教職という神聖な職務に対する冒瀆行為と呼んで差し支えないと言えるだろう。

【悪魔】 確かに、全体から見ても僅かな割合の人たちが変なことをしでかしたせいで、他のみんなが同じように悪く思われることは、真面目に仕事をしている人たちから見たら心外極まりないでしょうね。でも、一部の人が不祥事を起

悪魔と天使の 法学入門

筑波大学准教授 星野 豊

第11話

教員の資質と 生徒の人格形成

こして他の人たちが迷惑を受けるといったことは、どのような職業でもありうることではないですか？ 私にはどうも、教員の不祥事と処分について、特に目立つような報道がされているように思えるんですがね。実際、凶悪な犯罪だけではなくて、あまりの馬鹿馬鹿しさに思わず失笑してしまうような事件も少なからず報道されているわけです。

【天使】 だから、先程も述べた通り、教職は一般の職業と異なり、人格発達途上の児童・生徒に対して、人格形成に直接携わる職務であることが重要なのだ。特に、現在の学校教育の構造からすれば、ある程度の標準化が制度的に図られているにせよ、個々の教員の個性が具体的に接する児童・生徒に対して実質的に影響を与えることは否定できないわけだから、不祥事を起こすような教員に児童・生徒の人格形成を委ねておけないことは当然と言えるだろう。教員の不祥事や処分に対して重点的な報道がなされることも、教員や教職に対する社会全般からの期待と関心とが高いことを示しているものと考えられる。

【悪魔】 私は単に、普段偉そうなことを言っている教員が、そうでない人たちと同じような失敗をしかしたことに對して、大なり小なり興味本位で報道機関が取り上げているような気もするんですね。それは、報道関係者の不祥事がどのように扱われているかを見てみれば、何となく想像できることでしょう。報道機関は自分たちの興味や意見を報道として広く世間に問うているだけで、社会全体のもの見方に忠実に従っているわけではないと思いますよ。

それに、教員は確かに子どもたちの人格形成にそれなりの影響を与える立場にあるわけですが、だから全員人格者を揃えるべきだ、ということに論理必然的になるのでしょうか？ 学校にいる間に立派な「先生方」に触れ過ぎたために、卒業してから社会のあまりの汚さに幻滅してしまうよりは、学校の中にも多少変わった人が教員としていた方が、より幅の広い「人格」が育つことが期待できるのではないですか？

【天使】 そのような方法は、児童・生徒が社会や教員に対する健全な批判能力を既に有して



おり、かつ、教員に對して対等な立場で児童・生徒が意見を言える環境が整っている、という前提がない限り絶対に成り立たない。現実の教育における児童・生徒の置かれている状況を考えるならば、教員全体の資質を高度に保たない限り、児童・生徒の人格形成は危機的状况に陥る恐れがあると言うべきだろう。

【悪魔】 そのようなご意見は、逆に、子どもたちが現に持っている批判能力を完全に無視しているように思えますし、さらに言うなら、教育現場で個々の教員が「個性」と称して子どもたちを成績その他で振り回していることを野放しにするものだと思いますよ。

だいたい、子どもたちが生活しているのは学校だけではないのですから、教員が全人格をかけて世の中の建前やきれいな事ばかりを教えたとしても、子どもたちがその通り育つわけではなんでしょう。犯罪者を教壇に立たせておくことはさすがにどうかと思いますが、教職が「聖職」だと強調し過ぎることで、かえって教員も子どもたちも息が詰まってしまうんじゃないでしょうかねえ。